

平成 20 年 4 月 15 日

福島第一原子力発電所の敷地周辺海域における海上音波探査の 実施期間の見直しについて

<概要>

(当初の予定)

福島第一・福島第二原子力発電所の敷地周辺海域における海上音波探査による調査は、平成 20 年 3 月末に終了する予定としておりました。

(現在の状況)

福島第一原子力発電所敷地沿岸部の調査が、波が高く、予定通りに実施できなかったことから、実施時期を見直すことといたしました。福島第二原子力発電所敷地沿岸部の調査を含め、その他の部分の調査は終了しております。

(今後の対応)

当該調査は、波の高さの影響が少なくなることが見込まれる 6 月中旬以降に、実施することとしました。

詳細は以下の通りです。

1. 見直し内容

当社では、先の新潟県中越沖地震の発生を踏まえ、福島第一・福島第二原子力発電所において、これまでの地質調査を補完し、さらに知見を拡充するために、平成 19 年 12 月 3 日より、両発電所の敷地周辺海域において海上音波探査を実施しております。

海上音波探査については、平成 20 年 3 月末の終了を目途に調査を進め、ほぼ終了しておりますが、福島第一原子力発電所敷地近傍の水深が浅い沿岸部の探査については、波が高く、予定通りに実施することができませんでした。このため、当該部の調査時期を見直すこととしました。

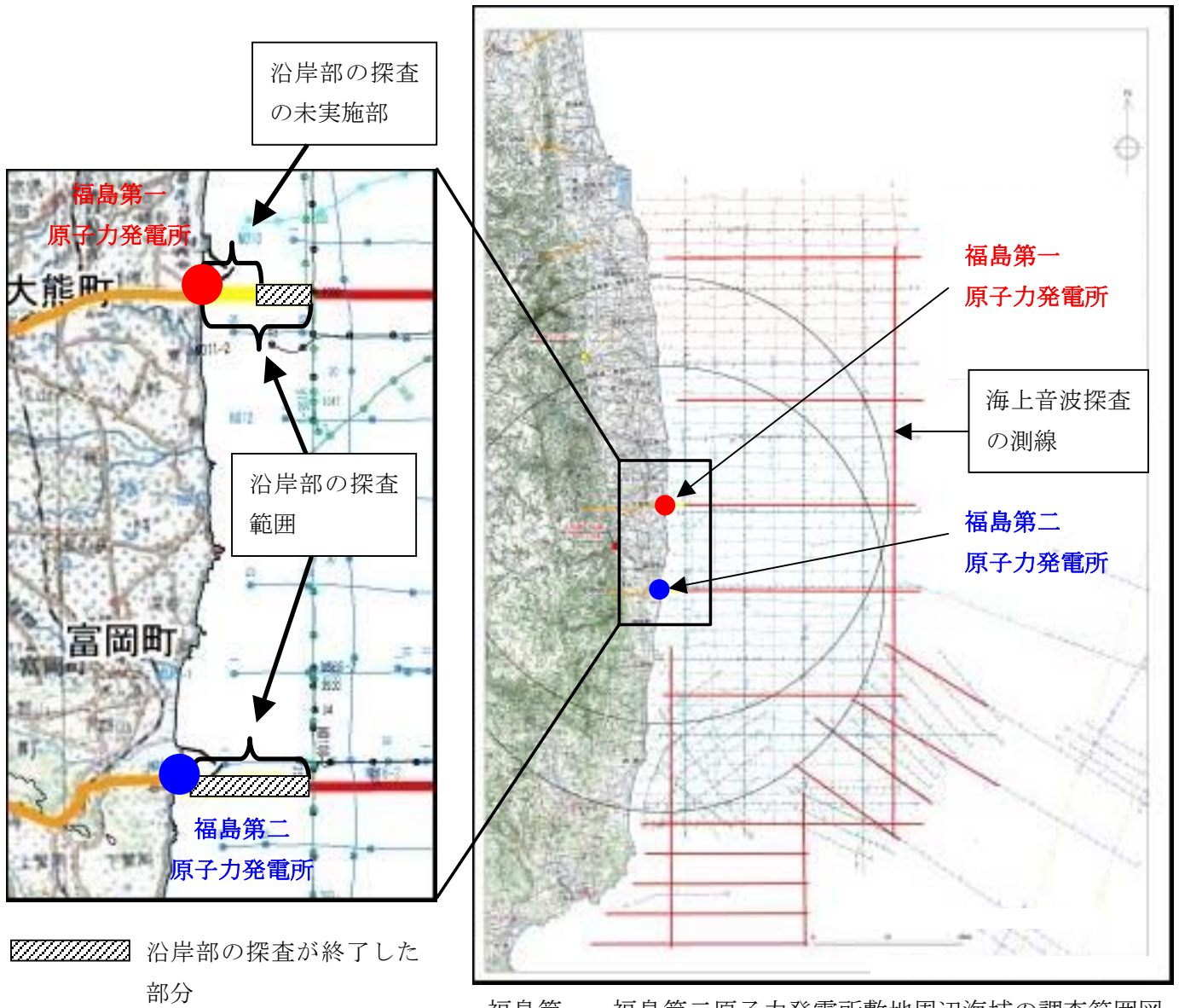
2. 今後の対応

当該部の探査については、例年の波の状況を踏まえ、同探査の実施に支障がない波の高さになることが見込まれる 6 月中旬以降にあらためて実施することといたします。

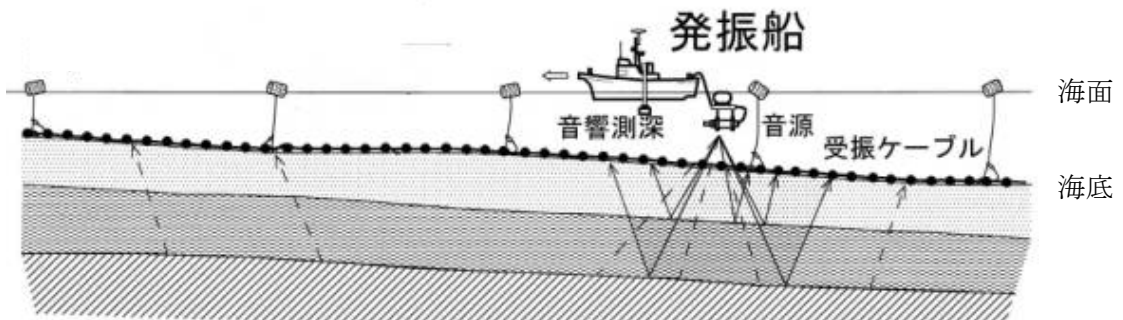
また、陸域調査を含め、既に終了している地質調査の結果については、引き続きその取りまとめを行ってまいります。

以 上

<沿岸部の探査位置図>



<沿岸部の探査方法>



水深の浅い沿岸部については、小型の船舶を利用して海底に受振ケーブルを敷設し、発振船から発振した音波の反射波を受振ケーブルにて受振することで、沿岸部の地質構造を調べる。